

レファレンス講座 報告 ～「令和」の由来、『万葉集』を知る～

令和元年11月10日（日）午後2時から、レファレンス講座、「令和」の由来、『万葉集』を知る」をルミエール府中1階 第1・2会議室にて開催しました。



<会場の様子>



<講師の吉田裕子先生>

講師は、昨年のレファレンス講座「百人一首入門～季節の歌、恋の歌～」でもお招きした、吉田裕子先生です。吉田先生は、学習塾やカルチャースクールで国語講師をされつつ、一般向けの古典入門講座や、国語の専門家としてテレビへ出演されるなどのご活躍をされています。また、古典や日本語に関する本も多く書かれており、府中市立図書館でも所蔵しています。

参加者からは、「分かりやすかった」「万葉集・古典が身近になった」「楽しかった」「明るい声で聞きやすかった」など、昨年同様たくさんのご好評をいただきました。

会場内には、講座の関連本・吉田先生の著書を展示していましたが、休憩時や講座終了後に図書館で貸出しをされていく方が多くみられました。



<講座関連本の展示>

万葉集は現存最古の和歌集であり、780年代に完成したといわれています。まだこの頃は平仮名がなかったため、万葉集には万葉仮名が多く使われています。

この万葉仮名には当時の役人の工夫がみられ、なかには、なぞなぞのような使い方もあります。今回はそのような、万葉仮名で書かれた和歌の解読に挑戦しました。難解で、悩む場面もありましたが、先生の解説を聞くと参加者から「なるほど」と納得する声が上がりました。

講座のなかでは、和歌を皆で声に出して読み上げることも行いました。先生の解説も相まって、読み手の気持ちへの理解が深まり、より万葉集の世界に浸ることができたのではないかと思います。

この度の「令和」への改号で、万葉集や古典について興味を持った方も多いのではないのでしょうか。改元の年、令和元年に行われた今回の講座ですが、先生の分かりやすくユーモアあふれる語り口と楽しい内容に、参加された方皆、心ゆくまで万葉集を楽しまれました。